

調査年度				番号	街道名	路離 km	区 間	参 考
57	58	59	60					
		○		7	岩城街道	70	本宮郡山>三春—船引—小野—平	いわき地方と中通り物資交換の道
		○		8	御齋所街道	(67) 37	(須賀川)竹貫(古殿)—皿貝—常磐湯本	石川・いわき地方を結ぶ主要道
	○			9	白河街道	80	若松<背炙峠 滝沢峠>福良—勢至堂峠—白河	会津藩主参勤交代路
	○			10	南山通り	64	若松—福永(本郷)—大内—田島—糸沢(今市方面へ)	参勤交代と仲付駕者の道
○				11	二本松街道	53	若松<大寺 滝沢峠>猪苗代—揚枝峠—本宮—二本松	会津への物資流入路
	○			12	米沢街道	47	若松—塩川—熊倉—大塩—松原—松原峠(米沢へ)	伊達政宗会津侵入の道
	○			13	越後街道	43	若松—坂下—塔寺—鐘撞堂峠—野沢(津川・新潟方面へ)	越後からの塩の道
		○		14	沼田街道	184	若松—坂下—柳津—只見—古町—松枝岐—尾瀬(沼田へ)	会津半周の主要街道
		○		15	八十里越	20	叶津(只見)—八十里峠—鞍掛峠(新潟県下田村方面へ)	奥会津への文化流入路
		○		16	六十里越	25	只見—田子倉(大白川・小出方面へ)	越後へ青芋輸出の道

② 文化財基礎調査

「昔話・伝説」調査

昔話や伝説などの口頭伝承は、伝承者の高齢化によって急速に失われつつあるので、緊急に調査を行う必要があり、昭和58年度より3か年継続で調査を行ってきた。

○第1年度 全県的に地区調査員を委嘱し、調査員による所在調査を実施

○第2年度 1次調査の中から特にすぐれた伝承者を選び、本調査(伝承者から直接聞き取り調査)を実施

伝承者数 84名

○第3年次 報告書の刊行 掲載話数 330話

○調査員

専門調査員 県文化財保護審議会委員

岩崎敏夫

同 東北学院大学教授 大石直正

同 県考古学会副会長 馬目順一

地区調査員 43名

④ 諸職調査

県内各地に伝承されてきた様々な生活用品等を製作する伝統的技術は、近年の技術開発と生活様式の変化によって急速に衰退しているため、これらの技術をもった職人の様々な職種(諸職)について、昭和60年度より2か年計画で調査し、記録保存を図る。

○第1年次 90種調査

○第2年次 70種調査 報告書の刊行

○調査員

専門調査員 県文化財保護審議会委員

岩崎敏夫

同 同 高瀬喜左衛門

同 福島大学教授 佐藤次郎

地区調査員 30名

⑤ 文化財指定調査

歴史的、学術的な価値を有する文化財は数多く存在するが、その中から重要なものを選び、指定のための調査を実施し、県文化財保護審議会の答申に基づき、昭和61年3月31日付をもって指定した。

指定した文化財は、次のとおりである。

③ 中世城館跡調査

近年、開発行為により、影響が懸念される中世の城、館、屋敷、砦、烽火台、物見台跡等を中心とする関連遺跡について、位置、規模、遺構の残存状況、周辺の歴史的状況等について、昭和60年度より3か年計画で調査し記録保存を図る。

○第1年次 城館跡の所在確認調査

○第2年次 重要度の高いもの100か所程度を選び、2次調査、略測図の作成等

○第3年次 報告書の刊行

○調査員

専門調査員 県文化財保護審議会委員

安田初雄

同 同

小林清二